

# 一般質問

武藤 康史（市民クラブ未来）  
令和6年度予算編成方針について

**問** 予算編成方針に公共施設等整備基金の取り崩しが必要と明記されているが、新規施設等の建設費でこれを取り崩すのは適切でないのでは。

**答** 総合振興計画に位置付けられた事業の遂行のために取り崩すのは適切と考えています。

**問** 議会からの各種指摘事項を予算にどう反映したかを適宜きちんと説明すべきでは。

**答** 議会と執行部との間で協議すべきことと考えます。

## 行政への民意の反映について

**問** サブアリーナに関する世論調査について、賛成が30%（反対が42%）という事実をどう受け止めるのか。

今定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ議長に対して質問事項を通告し、執行部は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

**答** これまででない調査であり、調査の精度、設問の順序、市の調査との整合等についての精査が必要と考えています。

**問** 民意イコール市民の声の多数がどこにあるか市の認識を伺う。

**答** さまざまな市民の声が民意と考えており、議会の議決、検討委員会や利用者の声が民意との考えのもとに本事業を進めています。

**問** 民間の活用等、事業手法について再検討すべき時ではないか。

**答** 工事期間、パルシーの閉館期間と早期改修を念頭に検討し、包括一括方式で進めることとしました。今後の運営のあり方については引き続き検討していきます。

**問** 企業、商業施設の誘致への市民希望は高い。待ちの姿勢ではなく市として積極的に民間誘致に動くべきではないか。

**答** 進出希望の民間事業者が出てきた場合には地元利害調整を含めて積極的に対応します。

**問** 蓮田には良いものがあるがどれも決め手にかける。市長の号令のもと「蓮田NO.1」を創っていく構想を持つことはいかがか。市長に問う。

**答** さまざまな種を発掘し、さまざまなかたがたのアイデアをいただきたいながら、市民が誇れる街を作っていきたいと思っています。

秦 邦雄（無党派）  
障がい者施策の向上について

**問** 精神障がい者施策について精神障がい者数の状況は。

**答** 市内の精神障害者保健福祉手帳の所持者は、平成31年3月末が551人、令和5年3月末が698人です。また、自立支援医療制度（精神通院医療）の利用者は、本手帳未所持の人も含め5年3月末で1332名であり、精神的な疾患を抱えている方は多いと考えています。

**問** 手帳所持者は4年間で約27%増となっているが、精神障がい者等からの要望は。

**答** ①相談支援体制、②医療費の補助支援、③日中の活動場所等の確保に関することなどです。

**問** ③の要望に関して、この機能を有する「風」という施設が以前市内にあった。この施設閉鎖後の問題点や課題は。

**答** 日中の活動場所が少なくなってしまうこと、また類似した役割を持つ宮代町にある「地域活動支援センター」は、市内からは通いづらいことが課題です。

**問** 同センターの市内新設は、是非とも必要では。

**答** 現在圏域内にもう一か所設置できるか検討中で、蓮田市としては市内に設置できるよう提案しています。

**問** 令和4年12月議会で木佐木議員が知的障がい者の入所施設の建設促進について一般質問を行った。その後の進捗状況は。

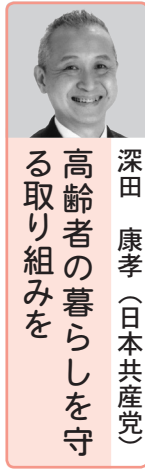
**答** 県立小児医療センター公舎について、令和5年度において7年度までに解体する予算措置を行ったと聞いています。

**問** 建物解体後に、遅滞なくその跡地利用ができるよう関係者と調整すると考えて良いか。



旧小児医療センター公舎（蓮田4丁目地内）

**問** 県の関係各課に足を運びながら一生懸命調整しているところです。また、土地利用が可能となった際には、入所施設整備に向けて、継続的に積極的に取り組みたいと考えています。



深田 康孝（日本共産党）  
高齢者の暮らしを守る取り組みを

**問** 近隣自治体で介護事業所が倒産して、突然入所者が住まいを奪われ、全員の転居先が決まるまで1か月余りもかかった事例があり、こうした施設が運営困難となった場合、入所者への対応は。

**答** そのような事態が発生した場合、入所者に対しては国・県や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等関係機関との連携も含めて、個別に相談を受けて対応します。

### 蓮田市の平和教育・平和行政推進を

**問** ウクライナ侵攻やガザ危機のもとで、平和への思いが強まっているが、本市で現在行っている市民や学校に向けた平和への取り組みは。

**答** 「平和都市宣言」に基づき、毎年、平和に関する事業を実施しています。その中で、令和元年度に小中学校において、全児童・生徒を対象に映画「あの日のオルガン」の上映会を行いました。

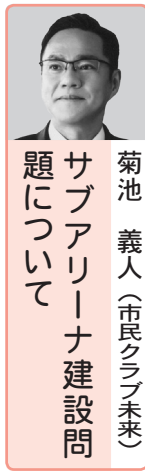
**問** 教育の一環として「あの日のオルガン」の定期的な上映を求めるがどうか。

**答** 「あの日のオルガン」の上映を通して、平和教育や情操教育への理解を深

めることにつながると捉えています。定期的な上映には課題がありますが、上映の機会を研究していきます。また、市内各小中学校に対して平和教育推進を働きかけていきます。

**問** 平和行政に対する見解は。

**答** 日本国憲法の理念、蓮田市平和都市宣言の趣旨をしっかりと踏まえて、平和行政を推進していきます。



菊池 義人（市民クラブ未来）  
サブアリーナ建設問題について

**問** サブアリーナ建設にかかる費用及び補助金などの財源、さらに市が令和6年度に自由に使えるといわれる一般財源はいくらと想定しているか。

**答** 文部科学省の学校施設環境改善交付金や独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興補助金（助成金の活用）市債（学校教育施設整備事業債）の借入れ、公共施設等整備基金の充当を想定しています。

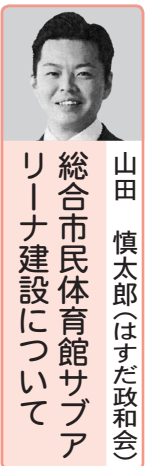
**問** 令和6年度に予定されている事業のうち環境学習館建設、黒浜小学校給食棟整備、蓮田中央小学校校舎整備で約8億8千万円、それに令和4年広報はすだに掲載されていたパルシー大規模改修及びサブアリーナ建設で約26億円から29億円、これにサブアリーナ建設費の物価上昇分約3億円を加えると約37億円となる。令和5年の当初予算の普通建設費は15億5千万円である。予算面から考えても一度立ち止

て建設費の削減、予算の分散化、民間活力の活用をしてはどうか。

**答** 建設費の削減については、費用を抑えるためパルシー改修工事と同時に工事する計画とし、財源の確保として、歳出が単年度に集中しないよう基金の繰入れや市債による財政負担を後年度に平準化しながら事業を推進していくことになります。

**問** 給食室・学校体育館エアコンや他市の事業よりサブアリーナを先に建設することについてどのよう児童や保護者に話すのか。教育長に問う。

**答** どの事業も価値の高い事業で、トイレについては計画的に進めてきました。給食室のエアコン設置に関しても黒浜小学校改築に伴い設置します。他校についても計画的に設置していきます。体育館のエアコンも計画的設置に向けて検討しています。どちらが優先的にと考えるべきものではないと捉えています。



山田 慎太郎（はすだ政和会）  
総合市民体育館サブアリーナ建設について

**問** 計画の進捗は。

**答** 現在、令和4、5年度の継続事業の内、実施設計を行っており、計画どおり令和5年度末に完了する予定です。

**問** 市民理解をどう考えるか。

**答** 令和3年3月に12団体からなる「蓮田市総合市民体育館サブアリーナ建設等検討会議」を設置しました。市としては各組織の長などからなる検討会議を市民の代表として捉えています。また、一番に市民理解の場としているのは、検討会議の算も含めて、その時々議案を提案し、議決をいただいている市議会と考えています。

**問** 大規模改修に伴うサブアリーナの目的並びに効果は。

**答** サブアリーナの目的は、現在のパルシーに不足している施設機能を改善するため増築するものです。パルシーの利便性が向上し、蓮田市以外で実施されていた大会やイベントを誘致することが可能となり、市を訪れる方が増え、さまざまな経済的効果やシティーセールスにつながっていくと考えています。

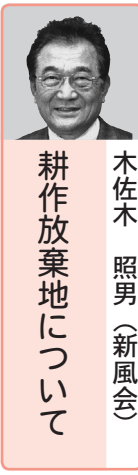
**問** 令和2年に行った蓮田市の「地域の将来像」アンケートに関して、蓮田市内の中学生へ向けたアンケートのトップ3は何か。

**答** 市内中学校2年生484人を対象に実施した調査で、「特に力を入れて充実してもらいたい施設」という設問（複数回答可）において、第1位は55.4%で「遠いところからも人の集まるショッピングセンター、娯楽施設」、第2位は36.4%で「スポーツ・レクリエーション施設」、第3位は35.1%で「買い物に便利な賑わいのある商店街」でした。

**問** 蓮田市が子どもたちの未来のためサブアリーナ建設に向け、今すべきことは何と考えるか。

**答** 「子どもの未来のために、未来を子どもたちのために」を合言葉に若い世代が生涯にわたり「蓮田市」という地域で活躍できる大きな可能性を後押しするため、充実した環境整備を行うことは必要です。サブアリーナを増築することにより、スポーツなどに触れ合う機会が増え、さまざまなスポーツを身近に観ることができ、未来の子どもたちにとっても必要なことであり、計画どおり事業を完了させたいと考えています。

※ほかに、起業家支援に関して質問。



木佐木 照男（新風会）  
耕作放棄地について

**問** 増加の原因は。

**答** 年々、就農者の高齢化や農作物の買取価格の低迷等により離農が進んでいる一方で、新規就農者は、経営面積が少ないうえにわずかしかりません、そのため、

農地が適性に管理されず耕作放棄地が増えてきている状況です。

**問** 環境に与える影響は。

**答** 農地の適正な管理がなされないため雑草などが繁殖し、景観的にも悪く、ごみが不法投棄されやすいことや、雑草が枯れると火災の恐れも懸念されます。また、病害虫の発生場所や特定外来生物のすみかとなることも考えられ、隣接して耕作している農地や周辺の環境に対しても悪影響を及ぼしているものと考えています。

**問** 問題改善に向けた対策は。

**答** 市では水田生産調整事業として、水田における主食用米の生産調整の推進を図るため、その代替として作付される作物の生産振興を図る事業を支援しています。また、遊休農地等の効率的な活用や保全を図ることを目的として、農地流動化の促進に対する取り組みに補助金を交付しています。

### 道路にはみ出している樹木の伐採等の対策について

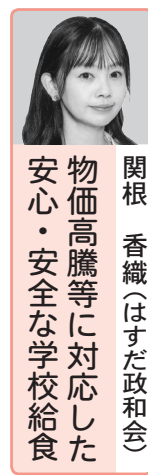
**問** はみ出した樹木は誰の管理か。

**答** 住宅や農地等から道路などに張り出している樹木は、一般に土地所有者に所有権がありますので、土地所有者の管理責任のもと処理されるのが原則となります。

**問** 事故が起きた場合の責任は。

事故が起きた場合の責任は。

**答** 市では、道路への樹木の枝等の張り出しに関するご相談をいただいた場合、担当職員で現場の状況を確認し、土地所有者を調査し、訪問や文書の送付などの方法により、樹木の枝等の適切な管理をお願いしています。



関根 香織（はずだ政和会）  
物価高騰等に対応した  
安心・安全な学校給食

**問** 蓮田市では、献立の調整や補助金の活用により、物価高騰による給食への影響に対応してきた。引き続き、子どもたちの成長を支えるため、質と量を確保した安定的な実施を最優先に対応して欲しい。

**答** 物価高騰による給食提供事業者の破産により、給食が提供できなくなった自治体も生じているが、蓮田市ではこうした心配はないと捉えてよろしいか。

**問** 蓮田市では、給食費により学校が食料を調達し、調理のみを事業者に委託しているため、考えづらいと認識しています。

**答** 給食費改定に係る蓮田市学校給食委員会での協議内容は。

**問** 食材の高騰が続く中、児童・生徒の栄養摂取とおいしく楽しい給食の維持のために給食費改定額を決定しました。

**答** なお、改定後の金額が適正であるかを確認するため、来年度以降、速やかに見直しを検討してほしいとの意見がありました。

**問** 来年度の給食費改定による保護者負担を軽減するため、国の物価高騰対策に係る補助金を財源とし、価格改定分（小

学校の月額600円・中学校の月額920円）に対する保護者への支援措置を実施すべきと考えるが、教育委員会での検討状況は。

**答** 物価高騰が続く中、子育て支援の貴重な財源として、担当部署に提案・相談しています。

**問** 給食費無償化に係る市長の考えは。

**答** 蓮田市では、補助金や交付金がなければ無償化とすることは難しいです。第三子以降の給食費無償化について、基準や考え方を含めて検討します。

※ほかに、「蓮田駅東口を起点とする道路環境の整備」について質問。

### 議会の傍聴ができます

市議会の本会議は、一般に公開されていて、傍聴することができます。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

●車いすでの傍聴ができます

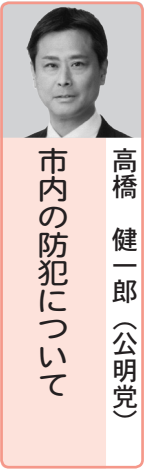
市議会の議場には、車いす用の傍聴スペースが用意してあります。

●手話通訳者について

議会を傍聴する際に、手話通訳者を希望される場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。

●議会中継について

本会議は、インターネットによるライブ中継及び録画映像の視聴ができます。



高橋 健一郎（公明党）  
市内の防犯について

**問** 市内の空き巣被害の現状と被害に遭わないための対策を伺う。

**答** 本年の侵入窃盗被害は、蓮田地区12件、黒浜地区41件、平野地区8件です。現金、貴金属、家電製品を盗む侵入犯罪が起きています。侵入対策として、ガラス破り防止シートや防犯カメラ作動中の表示シールを配布しています。

**問** 市内の特殊詐欺被害の現状と被害対策はどのように行っているか伺う。

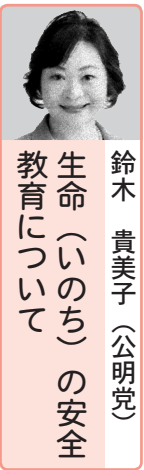
**答** 令和3年16件、令和4年33件、令和5年10月末まで61件で、内容はオレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料請求詐欺、還付金詐欺、キャッシュカード詐欺が発生しています。市の特殊詐欺対策で警告メッセージを発したり、通話の内容を録音ができる装置を無料で貸し出しています。

### 大地震発生時の避難行動について

**問** 大震災時に対する日頃の備えの推進と、要支援者等の対応を伺う。

**答** 分かりやすい資料を使って学ぶことや図上訓練等の支援を行っています。要支援者等は、共助の一類型として、「蓮田市災害時避難行動支援制度」による緊急連絡先等を定めた避難計画を作成し対応します。

※ほかに、食品ロス削減の推進について質問。



鈴木 貴美子（公明党）  
生命（いのち）の安全教育について

**問** 近年、子どもや若者が性暴力の被害者になるケースが増えている。被害にあった時の年齢は10代以下が約半数を占めており、中学生以下では約3割にのぼっている。文科省は令和5年4月から、性暴力防止を目指した「生命の安全教育」を実施している。性に関することについては、先生と生徒の距離が近く、話しづらいこともある。外部の講師を招いて、教職員や生徒向けに「生命の安全教育」を行うのはいかがか。

**答** 外部講師を招いての実施方法、成果、課題など、近隣市町の取り組みの情報を収集して、引き続き研究していきます。

### 子育て支援の充実について

**問** 県では、令和6年度より補助対象を3年生までとし、所得制限を撤廃する方針を公表した。拡大の補助で、子育て支援の充実を図るのはいかがか。

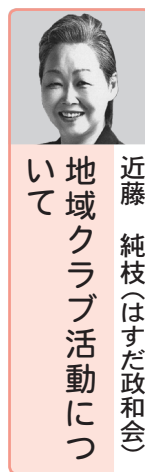
**答** 県から示されている推奨事業を参考に、関係各課と協議しながら検討します。

### 認知症の方との共生社会の実現を推進するための取り組みについて

**問** 2025年には約700万人、65歳以上5人に1人が認知症になると推計されている。令和5年6月に成立した「共生社会の実現を推進するための認知症基本

法」には、認知症の人が尊厳を保ち、希望を持って暮らせるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進し、共生社会の実現を目指すことが明記されている。具体的にはどのような進め方があるか。

**答** 認知症は、誰にでもなる可能性がある。重要なことは、認知症になっても周りの方に助けられながら、安心して生活できることと考えます。地域の支えあい活動を創出する生活支援体制整備事業との連動を図りながら、認知症総合支援事業を進めていきます。



近藤 純枝（はずだ政和会）  
地域クラブ活動について

**問** 現時点での地域活動の把握は。

**答** 令和5年度から令和7年度を「活動環境整備期間」、令和8年度から令和10年度を「活動環境定着期間」と設定して、蓮田市立中学校部活動地域移行検討委員会を立ち上げ、地域クラブ活動の整備に向けて検討しています。

**問** 学校と地域スポーツの組織づくり及び運営にあたり、学校と民間地域と行政との調整は、まとめる専門性のあるリーダーや全体を一括に担う運営主体が必要と考えられるか。

**答** 国や県の具体的な推進計画を基に検討委員会を中心にして蓮田市における組織づくりを検討していきます。

### 高齢者の生きがいについて

**問** シルバー人材センターの会員を増やすための取り組みは。

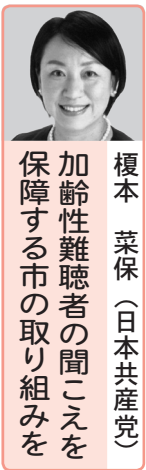
**答** 市との情報交換会や民間企業への訪問等による就業開拓活動を行い、魅力ある就業機会の拡大にも努め、幅広く会員の就業につながることを目指しています。

**問** 高齢者の就労につながるよう就労先とのマッチングを行うコーディネートサービスを配置するのはいかがか。

**答** 地域包括支援センター業務において、高齢者の社会参加、地域での活動支援を重視し、シルバー人材センターや社会福祉協議会と連携して、高齢者の個々の状況に応じた適切な就労相談窓口へつなぐなどコーディネート機能を発揮できるように、体制を強化して取り組んでいきます。

**問** 今後、後期高齢者の増加が考えられるが、将来的な医療費・介護保険を少なくする対策や健康寿命延伸のための効果的な事業を伺う。

**答** 蓮田市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施推進会議を開催し、健康増進と介護予防の取り組みにより医療保険や介護保険給付費の上昇を緩やかにすることが期待される事業です。



榎本 菜保（日本共産党）  
加齢性難聴者の聞こえを保障する市の取り組みを

**問** 難聴は、家族や友人との会話がかみ合わないなど生活に支障が出たり、近年多くの研究成果から、認知症やうつ病

の発症に深く関係していることが明らかとなり、予防や治療等の対応は現代社会の重要な課題。加齢性難聴の早期発見・対策の重要性についての啓発を行ってはいかがか。

**答** ホームページやチラシへの聞こえのセルフチェックや、補聴器の利用方法等の記事掲載、健康相談や健康講座等での啓発を検討していきます。

**問** 県内4市2町でも開始された補聴器購入費助成制度の創設をしてはいかがか。

**答** 引き続き市民の声や県内市町村の実施状況を把握しながら、市の現状に合った取り組みについて研究します。

### 保育士が働きやすい労働環境と処遇改善を

**問** 市内公立保育園の現状は、約5〜6割が会計年度任用職員（非正規・短時間）に支えられており、正規職員の割合が少なく、一人一人にかかる責任が過重となり疲弊しているという声がある。また支援の必要な多様な子どもたちが年々増えており、これまでの人員配置ではとても足りないとの声もある。子どもたちの安全を守るためにも正規職員を増やすなど配置基準の改善を求めるがいかがか。

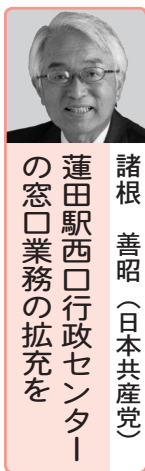
**答** 国を上回る基準となっており、これ以上の改善は困難であると考えています。

**問** 昨年2月から、国による保育士等の処遇改善事業が行われ、公立保育士も対象だった。市での実施状況は。

**答** 市では実施していません。

**問** 人出不足を補うには、公立保育士になりたいと思える処遇が必要。国の予算でできるが、積極的に実施してはいかがか。

**答** 一般職員と同一の給料表に基づいており、保育士のみ処遇改善は現時点では難しいと考えています。



諸根 善昭（日本共産党）  
蓮田駅西口行政センターの窓口業務の拡充を

**問** 開設後の窓口の利用件数は。

**答** 令和3年度が2万9042件、令和4年度が3万4353件、令和5年11月末時点で1万9010件です。受付できなかった件数は集約していません。

**問** 国保の高額療養費支給の申請ができなかった理由は。

**答** 国保年金課にあるレセプト管理システムの確認が必要なためです。

**問** 障害児通所給付費支給申請や療育手帳の更新ができなかった理由は。

**答** 受付には専門性のある職員がいなかったためです。

**問** 窓口業務の拡充のために体制の補強が必要と考えるが、どうか。

**答** 市長のもとでしっかりと検証をしていきます。



蓮田駅西口行政センター窓口

### 宿浦橋人道橋のすみやかな完成を

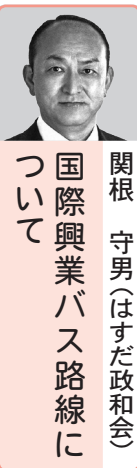
**問** 取り組みの現状は。

**答** 市では設計業務の成果品を基に、ネクスコ東日本と協議を行って、構造的部分については張り出し方式を進めることで了承を得ています。令和5年度に入り、今までの協議結果をネクスコ東日本と市で共有するために設計協議の締結に向けて調整しているところです。

**問** 工事の着手と完成の時期は。

**答** 橋の形式、詳細な構造、歩行者の安全対策、施工期間、発注方法など検討すべきことが多岐にわたり、接続する箇所でも安全対策のための改良工事が必要です。歩道が高速道路上に架かるという点も、

施工難易度が高い工事となっており、協議に時間がかかる要因です。具体的な時期については言えませんが、人道橋設置に向けて取り組んでいきます。



関根 守男（はすだ政和会）  
国際興業バス路線について

**問** 国際興業株式会社が運行事業者となっている岩槻駅西口〜蓮田駅東口〜蓮田よつば病院間の2系統が令和6年3月末をもって廃止される。バスの運行が廃止されると地域住民の移動手段がなくなるが、市はどのような対応を考えているか。

**答** さいたま市と連携して、令和6年4月1日から乗合タクシーが運行できるように調整しています。現在、さいたま市において運行事業者の公募選定等の手続きが進められています。

**問** 蓮田市とさいたま市との役割分担や、蓮田市の負担額はどうか。

**答** さいたま市と調整中のため、確定後に報告したいと考えています。

### 水害対策について

**問** 調整地等の市内の整備状況は。

**答** 市が管理している調整地は19箇所あります。

**問** 新たな調整地等の計画は。

**答** 流域全体で約2万8800立方メートルを貯留する黒浜調整地と、高虫西

部地区産業団地内に約2万5800立方メートルの調整地を整備する計画です。

**問** 農地埋め立てに伴い、埋め立て地周りに被害が発生していると思われるが、水害防止のための基準は。また、農業委員会として対策を考えているか。

**答** 農地改良に伴う農地転用については、県の要綱を準用し審査・許可しています。工事完了時に検査を行いました。問題は見受けられませんでした。今後、現地の状況を確認し何ができるか研究します。

### 見沼代用水について

**問** 見沼代用水を観光資源として活用し、下蓮田地内に伏越公園等を計画してはどうか。開削300周年に向けて、

**答** 現時点で整備計画については、言及できません。

**湯谷 百合子（無党派）**  
パールシーに係る経費とサブアリーナ建設に伴う課題について

**問** パールシーの利用率が平成30年に比べ、令和4年は減っている。高齢化の影響ではないか。利用率の減少を分析しているか。

**答** 高齢化によって利用団体の会員が減少し、影響は利用率にじわじわと来ていると感じるが、令和4年の減少はコロナの影響かと考えています。

**問** サブアリーナ建設によって、市民や学校教育が受けるメリットは。

**答** 蓮田を訪れる人が増え、飲食業や小売業に経済効果があります。学校関係では、県大会以上の大会誘致や中学校の部活動の地域移行の活動拠点になります。

**問** 蓮田市は公共施設70施設を今後30年間に補修等維持する経費が307億円不足する予想だ。サブアリーナ建設でさらに40億円の維持費が増えるが、どう考えるか。市長に伺う。

**答** 今の事だけ考えると基金が35億円あり、議会の議決をいただいたということ。中長期については、財政の平準化を目指していきます。

### サブアリーナより優先すべき課題について

**問** 市民の多くの声として、サブアリーナより優先すべき課題がある。第一に災害時の避難所となる小中学校体育館のエアコン導入と和式トイレの改修を優先すべきと思うがいかがか。

**答** 学校全体の整備計画の中で長期的に考え研究します。

**問** 市民の命にかかわる問題。悠長すぎる。災害はいつ起こるかわからない。避難所整備の前に災害が来たらどこに避難するのか。教育長に伺う。

**答** 体育館のエアコンについて、近隣等調べて早急にやるべきかもしれないと検討を始めました。災害時には教室にはエアコンが導入されているので、教室を避難所として使っていただきます。

**問** 市民との意見交換で優先すべき課題として、高齢者の移動のために、コミュニティバスや乗合タクシーの導入の話が出

た。年々増加する高齢者の移動における課題に対して、どう支援するのか。

**答** 高齢者の暮らしの中でどのような移動手段が必要なのか、地域ごとの課題を把握し、各担当と連携し協議していきます。

**山田 孝夫（公明党）**  
ユニバーサルシートについて

**問** 現状は。

**答** 市役所、総合文化会館（ハストピア）、蓮田駅西口行政センター（ブレックス蓮田）、蓮田はなみずき作業所、蓮田はすの実作業所に設置しています。

**問** ユニバーサルシート（\*）についての所見は。市長に伺う。

**答** まちづくりにおける利便性を図るうえで、駅周辺の施設等民間も含めて設置を進めるとともに、かがやきはすだプランにも反映させたいと考えています。

\*ユニバーサルシート：子どもを含め高齢者、障がい者等が利用できるベッド。

### 国指定史跡「黒浜貝塚」について

**問** 来場者数は。

**答** 文化財展示館の来場者数は令和4年度は6121人、令和5年度は4月から10月末までで6628人です。

**問** ボランティアの育成・確保の状況は。



黒浜貝塚（大字黒浜地内）

**答** 市民ボランティア学芸員の養成講座を受けているかた12名が、見学ガイドの補助、火起こし体験の補助等を行っています。

### 地域活動について

**問** 地域コミュニティとしての自治会の状況については。

**答** 令和5年4月の加入率は約50%です。自治連、宅建協会、市役所の3者で「蓮田市における自治会への加入促進に関する協定書」を締結して、自治会への加入の働きかけをしています。

**問** 電子回覧板（\*）についての認識は。

**答** 情報伝達の速達性・事務の簡素化のメリットがあります。

\*質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものを掲載しております。

